

# ゼミ活動等学生の活躍

本学Webサイトに掲載された記事を中心に紹介します。<2023年7月～2023年10月>学生の学年は、記事掲載時の情報です。

## 法学部の学生チームが「大学対抗サイバーセキュリティ競技会」で優勝

2023年7月26日、本学が参画している「サイバーセキュリティ人材の育成に関する産学官連携についての協定」の1周年記念行事が開催され、本学の四方光ゼミに所属している学生チームが「大学対抗サイバーセキュリティ競技会」で優勝しました。

同協定はサイバーセキュリティの重要性を鑑み、今後必要とされる人的資源、知的資源の育成に向け、産・学・官の各立場から相互協力を推進し、サイバーセキュリティ人材の育成及び社会発展に寄与していくことを目的として、2022年7月に警視庁、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科、東京電機大学、LINEヤフー株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ、本学で締結されたものです。



競技会の様子



表彰式

## 商学部の学生が「あずさ監査法人寄付講座特別奨学金」を活用し、職業会計人の育成を目的としたドイツ海外研修を受講

2023年度より、あずさ監査法人から寄付金を受けて、国際社会で活躍できる職業会計人の育成を目的とした海外研修を実施しています。

春学期に実施した『アカウンタント・プログラム』の授業科目である、「公認会計士・監査法人の実務(有限責任あずさ監査法人寄附講座)」の講義を経て、2023年8月31日～9月2日に希望者による海外研修を実施し、KPMGドイツ(デュッセルドルフ)を訪問しました。

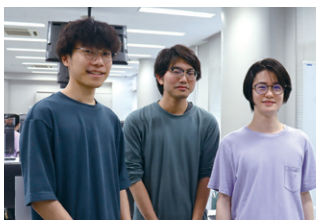
本研修では主に、KPMGドイツの業務概要および日本人駐在員の活動や上場企業が少ないドイツならではの会計実務の特徴や労働環境の違い、多くの人がたが国境を跨いで働いている状況での税制や税務サービスなど、多岐にわたるディスカッションを行いました。



## 理工学部情報工学科・理工学研究科情報工学専攻の学生が国際大学対抗プログラミングコンテスト(ICPC)国内予選を通過

理工学部情報工学科・専攻の生田智也さん(学部4年)、今枝俊輔さん(博士前期課程1年)、橋本誠也さん(博士前期課程1年)が、2023年7月7日に全国で一斉開催されたICPC 2023 Yokohama Regional国内予選を通過しました。

ICPCは、全世界で毎年3万人以上が参加し、国内外から高い評価を得ている、国際大学対抗プログラミングコンテスト(International Collegiate Programming Contest)です。情報工学科・専攻からは、学部3年生から博士前期課程1年生の5チーム15名が参加し健闘した結果、チーム「SSU」が2023年11月25日～26日に開催されるアジア地区大会への切符を手に入れました。



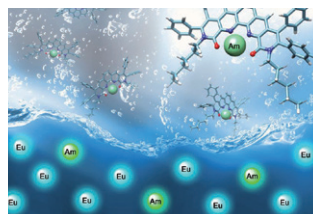
チーム「SSU」のメンバー(左から、生田智也さん、橋本誠也さん、今枝俊輔さん)

## 理工学研究科応用化学専攻 博士前期課程の住吉剛さんが日本放射化学会第67回討論会において若手優秀発表賞を受賞

理工学研究科応用化学専攻の住吉剛さん(博士前期課程1年)が、2023年9月21日～23日に行われた日本放射化学会第67回討論会において、若手優秀発表賞を受賞しました(口頭発表59件中4件が表彰)。

原子力に関わる放射性物質:マイナーアクチノイドの分離回収は、環境化学的観点から地球規模で重要な課題です。本研究では、理論化学研究室が開発に携わってきた、「重元素の相対論的量子化学計算法」と「機械学習」の手法を組み合わせた相対論的電子状態インフォーマティクスにより、分離が困難とされるランタニドとマイナーアクチノイドの分離効率を高めるための分離配位子の分子設計指針の探索を行いました。

■受賞テーマ  
マイナーアクチノイド抽出配位子の迅速設計に向けた電子状態データベースの構築



## 総合政策学部加藤久典ゼミがインドネシアの北スマトラ州国立北スマトラ大学とStudent Forum(研究発表会)を開催

2023年8月11日、加藤久典ゼミの2、3年生28名と国立北スマトラ大学文化学部学生が、両国で問題になっている事例について国立北スマトラ大学にて研究発表会を開催しました。北スマトラ大学の学生と加藤ゼミの学生は、英語、日本語、インドネシア語で「社会とインフラ」「AIと宗教」「宗教に基づく死生観」「若者文化」について発表し、意見交換を行いました。

各テーマで文化や価値観の違いなど活発な意見が交わされました。加藤ゼミは例年夏季休暇中にインドネシアにおいて学生フォーラムに参加したり、企業やNPO、政府機関などを訪問しています。



北スマトラ大学文化学部学生と加藤ゼミ生の集合写真

## 国際経営学部中村潤研究室の学生が情報科学技術フォーラムで発表

国際経営学部中村潤研究室4年生の塩崎良汰さんと大塚瞭さんが第22回情報科学技術フォーラム(以下FIT:2023年9月6日～8日、大阪公立大学の千石鳥居キャンパス)にて、発表を行いました。

塩崎良汰さんは、「透明性の錯覚」が起こすメカニズムのシミュレーション開発」と題して、FITでのモデル・アルゴリズム・プログラミング分野の中でも数理モデル化と問題解決のSIG(Special Interest Group)にて発表しました。

大塚瞭さんは、「キーボードを使わずにコンピューターを操作するインターフェースの開発」と題して、FITではヒューマンコミュニケーション&インタラクションの分野のインターフェースのSIGにて発表しました。



学会会場の前で(左から、塩崎良汰さん、大塚瞭さん)

## 国際情報学部の学生が情報処理学会研究会で発表

国際情報学部の小向太郎ゼミの学生が、2023年8月31日～9月1日に近畿大学で開催された一般社団法人情報処理学会第196回DPS※1・第101回EIP※2合同研究発表会で発表を行いました。

国際情報学部の小向太郎ゼミでは、情報通信技術の発展によって生じる新たな法制度上の課題について研究しています。本学会において、それぞれの学生が発表を行いました。

※1 マルチメディア通信と分散処理 ※2 電子化知的財産・社会基盤

